

令和 4 年度 病院事業決算状況

都道府県名 宮城県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	精神医療センター（地方独立 行政法人宮城県立病院機構）	2	大崎市	大崎市民病院鹿島台分院	20
-	がんセンター（地方独立行政 法人宮城県立病院機構）	3	蔵王町	蔵王町国民健康保険蔵王病院	21
-	こども病院（地方独立行政法 人宮城県立こども病院）	4	川崎町	国民健康保険川崎病院	22
仙台市	市立病院	5	丸森町	丸森町国民健康保険丸森病院	23
石巻市	石巻市立病院	6	涌谷町	涌谷町国民健康保険病院	24
石巻市	石巻市立牡鹿病院	7	美里町	美里町立南郷病院	25
塩竈市	塩竈市立病院	8	女川町	女川町立病院	26
気仙沼市	気仙沼市立病院	9	南三陸町	南三陸病院	27
気仙沼市	気仙沼市立本吉病院	10	白石市外二町組合	公立刈田総合病院	28
登米市	登米市立登米市民病院	11	黒川地域行政事務組合	公立黒川病院	29
登米市	登米市立米谷病院	12	加美郡保健医療福祉行政 事務組合	公立加美病院	30
登米市	登米市立豊里病院	13	みやぎ県南中核病院企業 団	みやぎ県南中核病院	31
栗原市	栗原市立栗原中央病院	14			
栗原市	栗原市立若柳病院	15			
栗原市	栗原市立栗駒病院	16			
大崎市	大崎市民病院	17			
大崎市	大崎市民病院鳴子温泉分院	18			
大崎市	大崎市民病院岩出山分院	19			

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名			
病院名 精神医療センター(地方独立行政法人宮城県立病院機構)			
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,301,996	
決算規模(千円)	1,097,820,691	
標準財政規模(千円)	477,964,354	
財政力指数	0.59081	
経常収支比率(%)	96.4	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.6
	将来負担比率(%)	144.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,749			
1 経常収益	4,749			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	4,749			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,749			
2 経常費用	4,749			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	105.1
材料費	-	-	26.1	9.8
(うち薬品費)	-	-	14.0	6.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	1.6
減価償却費	-	-	8.7	12.8
経費	-	-	22.1	35.3
(うち委託料)	-	-	11.7	17.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	4,749			
(うち支払利息)	4,749	-	1.0	2.4
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	101.8
医業収支比率	-		85.5	61.1
修正医業収支比率	-		82.8	58.7
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	32.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	57.0
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	32.7
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	68.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名			
病院名 がんセンター(地方独立行政法人宮城県立病院機構)			
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,301,996	
決算規模(千円)	1,097,820,691	
標準財政規模(千円)	477,964,354	
財政力指数	0.59081	
経常収支比率(%)	96.4	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.6
	将来負担比率(%)	144.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	22,408			
1 経常収益	22,408			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	22,408			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	22,408			
2 経常費用	22,408			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	59.0
材料費	-	-	26.1	25.6
(うち薬品費)	-	-	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	11.2
減価償却費	-	-	8.7	8.6
経費	-	-	22.1	21.3
(うち委託料)	-	-	11.7	11.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	22,408			
(うち支払利息)	22,408	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益	純損益	-		
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	104.8
医業収支比率	-		85.5	87.0
修正医業収支比率	-		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名			
病院名	こども病院(地方独立行政法人宮城県立こども病院)		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,301,996	
決算規模(千円)	1,097,820,691	
標準財政規模(千円)	477,964,354	
財政力指数	0.59081	
経常収支比率(%)	96.4	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.6
	将来負担比率(%)	144.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	69,680			
1 経常収益	69,680			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	69,680			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	69,680			
2 経常費用	69,680			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	67.0
材料費	-	-	26.1	18.2
(うち薬品費)	-	-	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.4
減価償却費	-	-	8.7	10.2
経費	-	-	22.1	28.8
(うち委託料)	-	-	11.7	13.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	69,680			
(うち支払利息)	69,680	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益	純損益	-		
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	104.5
医業収支比率	-		85.5	80.1
修正医業収支比率	-		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名	仙台市		
病院名	市立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓力
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	52,286 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	26	指定病院の状況	救臨感災地
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	467	80.0	73.8	79.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	21.2	10.8	14.5
感染症	8	92.0	98.0	67.8
計	525	74.6	68.2	73.1
平均在院日数(一般病床のみ)		9.4	9.1	9.6

設立団体の状況		
人口(人)	1,096,704	
決算規模(千円)	582,541,084	
標準財政規模(千円)	287,874,499	
財政力指数	0.89	
経常収支比率(%)	98.7	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.5
	将来負担比率(%)	57.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	20,234,550			
1 経常収益	20,223,778			
(1) 医業収益	16,856,046			
(うち修正医業収益)	15,890,672			
入院収益	11,483,354			
外来収益	4,231,786			
診療収入計	15,715,140			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	1,140,906			
(うち他会計負担金)	965,374			
(2) 医業外収益	3,367,732			
(うち国・都道府県補助金)	2,110,872			
(うち他会計補助・負担金)	893,257			
(うち長期前受金戻入)	132,951			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	10,772			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,902,337			
2 経常費用	19,750,898			
(1) 医業費用	18,746,733			
職員給与費	10,221,089	60.6	59.4	52.8
材料費	4,234,701	25.1	26.1	31.5
(うち薬品費)	2,026,809	12.0	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,207,892	13.1	11.8	13.9
減価償却費	1,423,972	8.4	8.7	7.7
経費	2,796,311	16.6	22.1	18.0
(うち委託料)	1,902,555	11.3	11.7	10.7
研究研修費	54,032			
資産減耗費	16,628			
(2) 医業外費用	1,004,165			
(うち支払利息)	240,195	1.4	1.0	0.9
(3) 特別損失	151,439			
損益	472,880			
純損益	332,213			
累積欠損金	7,682,290			
経常収支比率	102.4		103.3	102.8
医業収支比率	89.9		85.5	90.3
修正医業収支比率	84.8		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	9.2		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	11.0		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	9.2		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	93.0		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	36,302,365
1 固定資産	25,097,822
(1) 有形固定資産	24,285,441
(2) 無形固定資産	812,381
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	11,204,543
(1) 現金及び預金	7,985,116
(2) 未収金及び未収収益	3,152,048
(3) 貸倒引当金()	9,283
(4) 貯蔵品	76,314
3 繰延資産	-
負債合計	27,891,223
1 固定負債	22,436,014
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	19,749,648
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,686,366
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	4,055,842
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,359,760
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	572,905
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,107,173
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,399,367
(1) 長期前受金	2,422,302
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,022,935
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	8,411,142
1 資本	16,093,432
2 剰余金	-7,682,290
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-7,682,290
負債・資本合計	36,302,365
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,810,008	1,858,631
資本勘定繰入	685,104	887,561
計	2,495,112	2,746,192

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	45.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	石巻市				
病院名	石巻市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	23,921 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	12	指定病院の状況	救 感 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	140	71.1	73.5	69.9
療養	40	79.4	79.1	72.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	180	72.9	74.8	70.5
平均在院日数(一般病床のみ)		15.3	16.0	16.3

設立団体の状況		
人口(人)	140,151	
決算規模(千円)	119,002,426	
標準財政規模(千円)	39,396,214	
財政力指数	0.54	
経常収支比率(%)	101.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.3
	将来負担比率(%)	25.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,587,713			
1 経常収益	4,530,717			
(1) 医業収益	2,884,952			
(うち修正医業収益)	2,687,411			
入院収益	1,917,306			
外来収益	654,520			
診療収入計	2,571,826			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	313,126			
(うち他会計負担金)	197,541			
(2) 医業外収益	1,645,765			
(うち国・都道府県補助金)	364,540			
(うち他会計補助・負担金)	459,892			
(うち長期前受金戻入)	755,236			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	56,996			
(うち他会計繰入金)	56,996			
総費用	4,517,813			
2 経常費用	4,509,557			
(1) 医業費用	4,364,453			
職員給与費	1,971,423	68.3	59.4	67.0
材料費	536,574	18.6	26.1	18.2
(うち薬品費)	175,686	6.1	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	360,888	12.5	11.8	9.4
減価償却費	795,623	27.6	8.7	10.2
経費	1,051,721	36.5	22.1	28.8
(うち委託料)	622,464	21.6	11.7	13.2
研究研修費	6,925			
資産減耗費	2,187			
(2) 医業外費用	145,104			
(うち支払利息)	3,217	0.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	8,256			
損益	21,160			
純損益	69,900			
累積欠損金	186,736			
経常収支比率	100.5		103.3	104.5
医業収支比率	66.1		85.5	80.1
修正医業収支比率	61.6		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	14.5		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	22.8		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	15.6		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	85.9		91.9	88.8

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,625,936
1 固定資産	10,167,695
(1) 有形固定資産	10,167,695
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,458,241
(1) 現金及び預金	756,736
(2) 未収金及び未収収益	665,334
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	36,171
3 繰延資産	-
負債合計	10,618,401
1 固定負債	645,053
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	494,764
(2) その他の企業債	142,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	8,289
2 流動負債	540,577
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	64,848
(2) その他の企業債	82,000
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	140,785
(6) リース債務	5,081
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	246,627
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	9,432,771
(1) 長期前受金	16,454,858
(2) 長期前受金収益化累計額()	7,022,087
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,007,535
1 資本金	1,542,891
2 剰余金	-535,356
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-535,356
負債・資本合計	11,625,936
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	525,363	714,429
資本勘定繰入	54,176	54,176
計	579,539	768,605

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	16.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	石巻市				
病院名	石巻市立牡鹿病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,588 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	その他		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	25	35.9	44.3	54.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	25	35.9	44.3	54.1
平均在院日数(一般病床のみ)		27.2	28.3	34.2

設立団体の状況		
人口(人)	140,151	
決算規模(千円)	119,002,426	
標準財政規模(千円)	39,396,214	
財政力指数	0.54	
経常収支比率(%)	101.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.3
	将来負担比率(%)	25.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	643,598			
1 経常収益	641,903			
(1) 医業収益	335,933			
(うち修正医業収益)	217,719			
入院収益	37,275			
外来収益	164,158			
診療収入計	201,433			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	134,500			
(うち他会計負担金)	118,214			
(2) 医業外収益	305,970			
(うち国・都道府県補助金)	3,563			
(うち他会計補助・負担金)	251,853			
(うち長期前受金戻入)	39,453			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,695			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	620,436			
2 経常費用	620,436			
(1) 医業費用	600,194			
職員給与費	314,182	93.5	59.4	87.7
材料費	100,782	30.0	26.1	13.6
(うち薬品費)	85,735	25.5	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	14,226	4.2	11.8	5.9
減価償却費	56,537	16.8	8.7	12.7
経費	128,394	38.2	22.1	45.1
(うち委託料)	65,064	19.4	11.7	21.3
研究研修費	299			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	20,242			
(うち支払利息)	74	-	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	21,467			
純損益	23,162			
累積欠損金	348,620			
経常収支比率	103.5		103.3	101.7
医業収支比率	56.0		85.5	62.5
修正医業収支比率	36.3		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	57.7		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	110.2		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	57.5		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	43.8		91.9	67.5

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,625,936
1 固定資産	10,167,695
(1) 有形固定資産	10,167,695
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,458,241
(1) 現金及び預金	756,736
(2) 未収金及び未収収益	665,334
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	36,171
3 繰延資産	-
負債合計	10,618,401
1 固定負債	645,053
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	494,764
(2) その他の企業債	142,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	8,289
2 流動負債	540,577
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	64,848
(2) その他の企業債	82,000
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	140,785
(6) リース債務	5,081
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	246,627
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	9,432,771
(1) 長期前受金	16,454,858
(2) 長期前受金収益化累計額()	7,022,087
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,007,535
1 資本金	1,542,891
2 剰余金	-535,356
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-535,356
負債・資本合計	11,625,936
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	265,097	370,067
資本勘定繰入	13,534	27,068
計	278,631	397,135

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	16.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名	塩竈市		
病院名	塩竈市立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	10,495 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	22	指定病院の状況	救 臨 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	161	72.2	73.0	71.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	161	72.2	73.0	71.3
平均在院日数(一般病床のみ)		14.0	13.0	13.0

設立団体の状況	
人口(人)	52,203
決算規模(千円)	24,894,502
標準財政規模(千円)	12,505,002
財政力指数	0.52
経常収支比率(%)	96.2
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,132,726			
1 経常収益	3,132,474			
(1) 医業収益	2,650,366			
(うち修正医業収益)	2,448,540			
入院収益	1,540,869			
外来収益	752,313			
診療収入計	2,293,182			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	357,184			
(うち他会計負担金)	201,826			
(2) 医業外収益	482,108			
(うち国・都道府県補助金)	164,749			
(うち他会計補助・負担金)	214,679			
(うち長期前受金戻入)	85,543			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	252			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,931,894			
2 経常費用	2,924,055			
(1) 医業費用	2,839,835			
職員給与費	1,752,080	66.1	59.4	67.0
材料費	342,721	12.9	26.1	18.2
(うち薬品費)	183,249	6.9	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	129,575	4.9	11.8	9.4
減価償却費	141,474	5.3	8.7	10.2
経費	597,074	22.5	22.1	28.8
(うち委託料)	310,010	11.7	11.7	13.2
研究研修費	5,338			
資産減耗費	1,148			
(2) 医業外費用	84,220			
(うち支払利息)	1,249	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	7,839			
損益	208,419			
純損益	200,832			
累積欠損金	3,211,064			
経常収支比率	107.1		103.3	104.5
医業収支比率	93.3		85.5	80.1
修正医業収支比率	86.2		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	13.3		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	15.7		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	13.3		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	92.9		91.9	88.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,921,841
1 固定資産	1,328,630
(1) 有形固定資産	1,328,484
(2) 無形固定資産	146
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	593,211
(1) 現金及び預金	31,875
(2) 未収金及び未収収益	553,331
(3) 貸倒引当金()	305
(4) 貯蔵品	8,310
3 繰延資産	-
負債合計	1,527,360
1 固定負債	530,889
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	530,889
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一 負債	-
2 流動負債	435,226
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	153,684
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	81,500
(6) リ 一 負債	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	198,527
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	561,245
(1) 長期前受金	1,088,423
(2) 長期前受金収益化累計額()	527,178
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	394,481
1 資本金	3,593,643
2 剰余金	-3,199,162
(1) 資本剰余金	11,902
(2) 利益剰余金	-3,211,064
負債・資本合計	1,921,841
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	343,375	416,505
資本勘定繰入	37,633	39,758
計	381,008	456,263

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	121.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名	気仙沼市		
病院名	気仙沼市立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透未訓カ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	26,908 m ²	不採算地区中核病院	第1種該当
診療科数	20	指定病院の状況	救臨感災輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	336	71.8	70.8	70.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	30.8	43.4	36.9
計	340	71.3	70.5	70.0
平均在院日数(一般病床のみ)		11.7	12.0	12.2

設立団体の状況		
人口(人)	61,147	
決算規模(千円)	52,806,193	
標準財政規模(千円)	18,539,799	
財政力指数	0.44	
経常収支比率(%)	99.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,239,944			
1 経常収益	11,239,827			
(1) 医業収益	8,199,217			
(うち修正医業収益)	7,896,958			
入院収益	4,619,614			
外来収益	3,187,469			
診療収入計	7,807,083			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	392,134			
(うち他会計負担金)	302,259			
(2) 医業外収益	3,040,610			
(うち国・都道府県補助金)	1,170,917			
(うち他会計補助・負担金)	734,273			
(うち長期前受金戻入)	1,047,185			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	117			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,581,859			
2 経常費用	10,569,954			
(1) 医業費用	10,001,958			
職員給与費	4,397,404	53.6	59.4	59.0
材料費	1,827,469	22.3	26.1	25.6
(うち薬品費)	1,132,301	13.8	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	693,922	8.5	11.8	11.2
減価償却費	1,467,944	17.9	8.7	8.6
経費	2,290,429	27.9	22.1	21.3
(うち委託料)	1,204,206	14.7	11.7	11.6
研究研修費	10,726			
資産減耗費	7,986			
(2) 医業外費用	567,996			
(うち支払利息)	22,502	0.3	1.0	1.1
(3) 特別損失	11,905			
損益	669,873			
純損益	658,085			
累積欠損金	6,253,022			
経常収支比率	106.3		103.3	104.8
医業収支比率	82.0		85.5	87.0
修正医業収支比率	79.0		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	9.2		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	12.6		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	9.2		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	96.5		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	20,610,041
1 固定資産	16,248,706
(1) 有形固定資産	14,949,928
(2) 無形固定資産	12,057
(3) 投資その他の資産	1,286,721
2 流動資産	4,361,335
(1) 現金及び預金	2,493,671
(2) 未収金及び未収収益	1,707,136
(3) 貸倒引当金()	3,711
(4) 貯蔵品	162,133
3 繰延資産	-
負債合計	16,055,941
1 固定負債	2,965,799
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,924,971
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	36,891
(7) 一ス債務	3,937
2 流動負債	1,067,454
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	131,088
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	355,306
(6) リ一ス債務	8,958
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	566,482
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	12,022,688
(1) 長期前受金	17,937,434
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,914,746
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,554,100
1 資本金	10,714,099
2 剰余金	-6,159,999
(1) 資本剰余金	146,000
(2) 利益剰余金	-6,305,999
負債・資本合計	20,610,041
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,024,752	1,036,532
資本勘定繰入	159,719	338,904
計	1,184,471	1,375,436

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	73.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名	気仙沼市		
病院名	気仙沼市立本吉病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	1,902 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	5	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	13:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	38	50.4	53.2	52.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	38	50.4	53.2	52.3
平均在院日数(一般病床のみ)		23.0	22.2	20.9

設立団体の状況		
人口(人)	61,147	
決算規模(千円)	52,806,193	
標準財政規模(千円)	18,539,799	
財政力指数	0.44	
経常収支比率(%)	99.4	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	654,284			
1 経常収益	653,930			
(1) 医業収益	444,341			
(うち修正医業収益)	444,341			
入院収益	168,966			
外来収益	250,705			
診療収入計	419,671			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	24,670			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	209,589			
(うち国・都道府県補助金)	5,080			
(うち他会計補助・負担金)	176,166			
(うち長期前受金戻入)	10,567			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	354			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	638,217			
2 経常費用	637,521			
(1) 医業費用	618,886			
職員給与費	385,490	86.8	59.4	87.7
材料費	51,964	11.7	26.1	13.6
(うち薬品費)	18,353	4.1	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	28,547	6.4	11.8	5.9
減価償却費	25,302	5.7	8.7	12.7
経費	155,664	35.0	22.1	45.1
(うち委託料)	88,080	19.8	11.7	21.3
研究研修費	389			
資産減耗費	77			
(2) 医業外費用	18,635			
(うち支払利息)	603	0.1	1.0	1.0
(3) 特別損失	696			
損益	16,409			
純損益	16,067			
累積欠損金	59,886			
経常収支比率	102.6		103.3	101.7
医業収支比率	71.8		85.5	62.5
修正医業収支比率	71.8		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	26.9		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	39.6		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	26.9		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	74.9		91.9	67.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	20,610,041
1 固定資産	16,248,706
(1) 有形固定資産	14,949,928
(2) 無形固定資産	12,057
(3) 投資その他の資産	1,286,721
2 流動資産	4,361,335
(1) 現金及び預金	2,493,671
(2) 未収金及び未収収益	1,707,136
(3) 貸倒引当金()	3,711
(4) 貯蔵品	162,133
3 繰延資産	-
負債合計	16,055,941
1 固定負債	2,965,799
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,924,971
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	36,891
(7) 一ス債務	3,937
2 流動負債	1,067,454
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	131,088
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	355,306
(6) リ一ス債務	8,958
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	566,482
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	12,022,688
(1) 長期前受金	17,937,434
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,914,746
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,554,100
1 資本金	10,714,099
2 剰余金	-6,159,999
(1) 資本金剰余金	146,000
(2) 利益剰余金	-6,305,999
負債・資本合計	20,610,041
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	176,166	176,166
資本勘定繰入	12,786	12,786
計	188,952	188,952

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	73.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名	登米市		
病院名	登米市立登米市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	18,796 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	16	指定病院の状況	救臨 災 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	198	74.6	77.6	78.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	198	74.6	77.6	78.1
平均在院日数(一般病床のみ)		17.8	17.8	18.2

設立団体の状況		
人口(人)	76,037	
決算規模(千円)	44,893,154	
標準財政規模(千円)	26,505,595	
財政力指数	0.36	
経常収支比率(%)	96.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.3
	将来負担比率(%)	66.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,532,154			
1 経常収益	5,517,755			
(1) 医業収益	4,187,619			
(うち修正医業収益)	3,677,250			
入院収益	2,195,567			
外来収益	1,344,016			
診療収入計	3,539,583			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	648,036			
(うち他会計負担金)	510,369			
(2) 医業外収益	1,330,136			
(うち国・都道府県補助金)	630,448			
(うち他会計補助・負担金)	383,254			
(うち長期前受金戻入)	250,369			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	14,399			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,890,719			
2 経常費用	4,890,719			
(1) 医業費用	4,707,339			
職員給与費	2,772,017	66.2	59.4	67.0
材料費	508,654	12.1	26.1	18.2
(うち薬品費)	231,729	5.5	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	274,298	6.6	11.8	9.4
減価償却費	365,473	8.7	8.7	10.2
経費	1,047,569	25.0	22.1	28.8
(うち委託料)	542,793	13.0	11.7	13.2
研究研修費	6,895			
資産減耗費	6,731			
(2) 医業外費用	183,380			
(うち支払利息)	27,054	0.6	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	627,036			
純損益	641,435			
累積欠損金	11,607,259			
経常収支比率	112.8		103.3	104.5
医業収支比率	89.0		85.5	80.1
修正医業収支比率	78.1		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	16.2		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	21.3		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	16.2		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	94.5		91.9	88.8

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,961,470
1 固定資産	9,385,094
(1) 有形固定資産	9,082,458
(2) 無形固定資産	1,288
(3) 投資その他の資産	301,348
2 流動資産	1,576,376
(1) 現金及び預金	458,883
(2) 未収金及び未収収益	1,097,474
(3) 貸倒引当金()	6,510
(4) 貯蔵品	22,613
3 繰延資産	-
負債合計	10,651,712
1 固定負債	7,673,010
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,894,067
(2) その他の企業債	186,100
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	300,000
(6) 引当金	2,292,843
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,614,889
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	850,526
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	30,000
(5) 引当金	263,330
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	379,076
(9) 前受金及び前受収益	83,674
3 繰延収益	1,363,813
(1) 長期前受金	3,233,965
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,870,152
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	309,758
1 資本金	15,791,084
2 剰余金	-15,481,326
(1) 資本剰余金	124,157
(2) 利益剰余金	-15,605,483
負債・資本合計	10,961,470
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	868,158	893,623
資本勘定繰入	327,173	483,481
計	1,195,331	1,377,104

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	558,579	9.5

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	260.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	登米市				
病院名	登米市立米谷病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,823 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	4	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	40	55.5	59.9	52.7
療養	50	63.0	63.4	77.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	59.7	61.9	66.4
平均在院日数(一般病床のみ)		22.9	22.9	22.0

設立団体の状況		
人口(人)	76,037	
決算規模(千円)	44,893,154	
標準財政規模(千円)	26,505,595	
財政力指数	0.36	
経常収支比率(%)	96.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.3
	将来負担比率(%)	66.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,195,361			
1 経常収益	1,192,403			
(1) 医業収益	865,395			
(うち修正医業収益)	781,062			
入院収益	492,677			
外来収益	228,077			
診療収入計	720,754			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	144,641			
(うち他会計負担金)	84,333			
(2) 医業外収益	327,008			
(うち国・都道府県補助金)	24,930			
(うち他会計補助・負担金)	209,727			
(うち長期前受金戻入)	87,585			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,958			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,408,876			
2 経常費用	1,408,876			
(1) 医業費用	1,344,267			
職員給与費	702,998	81.2	59.4	76.5
材料費	80,022	9.2	26.1	14.9
(うち薬品費)	31,488	3.6	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	47,350	5.5	11.8	6.4
減価償却費	241,099	27.9	8.7	11.5
経費	318,332	36.8	22.1	32.6
(うち委託料)	151,319	17.5	11.7	14.8
研究研修費	1,503			
資産減耗費	313			
(2) 医業外費用	64,609			
(うち支払利息)	14,948	1.7	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損益	-216,473			
純損益	-213,515			
累積欠損金	2,938,264			
経常収支比率	84.6		103.3	101.5
医業収支比率	64.4		85.5	73.2
修正医業収支比率	58.1		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	24.7		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	34.0		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	24.6		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	63.8		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,961,470
1 固定資産	9,385,094
(1) 有形固定資産	9,082,458
(2) 無形固定資産	1,288
(3) 投資その他の資産	301,348
2 流動資産	1,576,376
(1) 現金及び預金	458,883
(2) 未収金及び未収収益	1,097,474
(3) 貸倒引当金()	6,510
(4) 貯蔵品	22,613
3 繰延資産	-
負債合計	10,651,712
1 固定負債	7,673,010
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,894,067
(2) その他の企業債	186,100
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	300,000
(6) 引当金	2,292,843
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,614,889
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	850,526
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	30,000
(5) 引当金	263,330
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	379,076
(9) 前受金及び前受収益	83,674
3 繰延収益	1,363,813
(1) 長期前受金	3,233,965
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,870,152
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	309,758
1 資本	15,791,084
2 剰余金	-15,481,326
(1) 資本剰余金	124,157
(2) 利益剰余金	-15,605,483
負債・資本合計	10,961,470
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	277,787	294,060
資本勘定繰入	111,220	222,438
計	389,007	516,498

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	558,579	9.5

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	260.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	登米市				
病院名	登米市立豊里病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,119 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	輪		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	60	53.0	62.1	62.5
療養	30	97.0	98.3	98.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	67.6	74.2	74.5
平均在院日数(一般病床のみ)		28.8	28.8	27.1

設立団体の状況		
人口(人)	76,037	
決算規模(千円)	44,893,154	
標準財政規模(千円)	26,505,595	
財政力指数	0.36	
経常収支比率(%)	96.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.3
	将来負担比率(%)	66.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,176,050			
1 経常収益	1,174,855			
(1) 医業収益	929,305			
(うち修正医業収益)	878,639			
入院収益	578,871			
外来収益	263,567			
診療収入計	842,438			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	86,867			
(うち他会計負担金)	50,666			
(2) 医業外収益	245,550			
(うち国・都道府県補助金)	15,149			
(うち他会計補助・負担金)	184,395			
(うち長期前受金戻入)	37,021			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,195			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,233,730			
2 経常費用	1,233,730			
(1) 医業費用	1,197,134			
職員給与費	778,175	83.7	59.4	76.5
材料費	85,692	9.2	26.1	14.9
(うち薬品費)	41,405	4.5	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	43,909	4.7	11.8	6.4
減価償却費	72,937	7.8	8.7	11.5
経費	258,685	27.8	22.1	32.6
(うち委託料)	118,800	12.8	11.7	14.8
研究研修費	1,451			
資産減耗費	194			
(2) 医業外費用	36,596			
(うち支払利息)	3,895	0.4	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	-58,875			
純損益	-57,680			
累積欠損金	1,059,960			
経常収支比率	95.2		103.3	101.5
医業収支比率	77.6		85.5	73.2
修正医業収支比率	73.4		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	20.0		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	25.3		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	20.0		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	76.2		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,961,470
1 固定資産	9,385,094
(1) 有形固定資産	9,082,458
(2) 無形固定資産	1,288
(3) 投資その他の資産	301,348
2 流動資産	1,576,376
(1) 現金及び預金	458,883
(2) 未収金及び未収収益	1,097,474
(3) 貸倒引当金()	6,510
(4) 貯蔵品	22,613
3 繰延資産	-
負債合計	10,651,712
1 固定負債	7,673,010
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,894,067
(2) その他の企業債	186,100
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	300,000
(6) 引当金	2,292,843
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,614,889
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	850,526
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	30,000
(5) 引当金	263,330
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	379,076
(9) 前受金及び前受収益	83,674
3 繰延収益	1,363,813
(1) 長期前受金	3,233,965
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,870,152
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	309,758
1 資本金	15,791,084
2 剰余金	-15,481,326
(1) 資本金剰余金	124,157
(2) 利益剰余金	-15,605,483
負債・資本合計	10,961,470
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	227,278	235,061
資本勘定繰入	31,686	61,488
計	258,964	296,549

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	558,579	9.5

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	260.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	栗原市				
病院名	栗原市立栗原中央病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	22,277 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	18	指定病院の状況	救臨感災輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	269	67.6	67.4	68.6
療養	15	-	-	9.6
結核	28	29.7	28.0	35.0
精神	-	-	-	-
感染症	1	-	-	-
計	313	60.7	60.3	61.6
平均在院日数(一般病床のみ)		17.8	17.0	15.9

設立団体の状況		
人口(人)	64,637	
決算規模(千円)	46,095,787	
標準財政規模(千円)	27,054,788	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	96.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.3
	将来負担比率(%)	11.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,353,964			
1 経常収益	6,353,964			
(1) 医業収益	5,195,789			
(うち修正医業収益)	4,988,103			
入院収益	3,599,778			
外来収益	1,198,238			
診療収入計	4,798,016			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	397,773			
(うち他会計負担金)	207,686			
(2) 医業外収益	1,158,175			
(うち国・都道府県補助金)	387,046			
(うち他会計補助・負担金)	575,487			
(うち長期前受金戻入)	84,391			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,260,471			
2 経常費用	6,260,026			
(1) 医業費用	5,945,904			
職員給与費	3,117,328	60.0	59.4	59.0
材料費	1,047,523	20.2	26.1	25.6
(うち薬品費)	336,526	6.5	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	710,997	13.7	11.8	11.2
減価償却費	428,853	8.3	8.7	8.6
経費	1,330,601	25.6	22.1	21.3
(うち委託料)	655,130	12.6	11.7	11.6
研究研修費	10,128			
資産減耗費	11,471			
(2) 医業外費用	314,122			
(うち支払利息)	89,255	1.7	1.0	1.1
(3) 特別損失	445			
損益	93,938			
純損益	93,493			
累積欠損金	6,406,535			
経常収支比率	101.5		103.3	104.8
医業収支比率	87.4		85.5	87.0
修正医業収支比率	83.9		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	12.3		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	15.1		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	12.3		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	89.0		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,503,467
1 固定資産	10,993,097
(1) 有形固定資産	10,953,154
(2) 無形固定資産	786
(3) 投資その他の資産	39,157
2 流動資産	1,510,370
(1) 現金及び預金	50,733
(2) 未収金及び未収収益	1,403,918
(3) 貸倒引当金()	1,074
(4) 貯蔵品	56,793
3 繰延資産	-
負債合計	8,790,879
1 固定負債	6,567,735
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,567,735
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,889,864
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	918,796
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	284,700
(6) リ一ス債務	2,307
(7) 一時借入金	220,000
(8) 未払金及び未払費用	462,217
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	333,280
(1) 長期前受金	699,615
(2) 長期前受金収益化累計額()	366,335
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,712,588
1 資本金	12,605,868
2 剰余金	-8,893,280
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-8,893,280
負債・資本合計	12,503,467
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	783,173	783,173
資本勘定繰入	411,284	411,284
計	1,194,457	1,194,457

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	129.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	栗原市				
病院名	栗原市立若柳病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,851 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	60	59.6	67.8	53.1
療養	30	70.8	74.2	67.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	63.4	70.0	56.6
平均在院日数(一般病床のみ)		26.5	22.1	19.5

設立団体の状況		
人口(人)	64,637	
決算規模(千円)	46,095,787	
標準財政規模(千円)	27,054,788	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	96.5	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.3
	将来負担比率(%)	11.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,414,693			
1 経常収益	1,414,693			
(1) 医業収益	1,092,862			
(うち修正医業収益)	1,051,244			
入院収益	614,976			
外来収益	389,047			
診療収入計	1,004,023			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	88,839			
(うち他会計負担金)	41,618			
(2) 医業外収益	321,831			
(うち国・都道府県補助金)	57,850			
(うち他会計補助・負担金)	257,820			
(うち長期前受金戻入)	3,615			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,693,935			
2 経常費用	1,693,607			
(1) 医業費用	1,598,689			
職員給与費	914,952	83.7	59.4	76.5
材料費	116,300	10.6	26.1	14.9
(うち薬品費)	54,836	5.0	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	61,464	5.6	11.8	6.4
減価償却費	151,466	13.9	8.7	11.5
経費	391,137	35.8	22.1	32.6
(うち委託料)	200,087	18.3	11.7	14.8
研究研修費	1,578			
資産減耗費	23,256			
(2) 医業外費用	94,918			
(うち支払利息)	40,059	3.7	1.0	1.3
(3) 特別損失	328			
経常損益	-278,914			
純損益	-279,242			
累積欠損金	1,563,670			
経常収支比率	83.5		103.3	101.5
医業収支比率	68.4		85.5	73.2
修正医業収支比率	65.8		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	21.2		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	27.4		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	21.2		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	65.9		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,503,467
1 固定資産	10,993,097
(1) 有形固定資産	10,953,154
(2) 無形固定資産	786
(3) 投資その他の資産	39,157
2 流動資産	1,510,370
(1) 現金及び預金	50,733
(2) 未収金及び未収収益	1,403,918
(3) 貸倒引当金()	1,074
(4) 貯蔵品	56,793
3 繰延資産	-
負債合計	8,790,879
1 固定負債	6,567,735
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,567,735
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,889,864
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	918,796
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	284,700
(6) リース債務	2,307
(7) 一時借入金	220,000
(8) 未払金及び未払費用	462,217
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	333,280
(1) 長期前受金	699,615
(2) 長期前受金収益化累計額()	366,335
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,712,588
1 資本金	12,605,868
2 剰余金	-8,893,280
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-8,893,280
負債・資本合計	12,503,467
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	299,438	299,438
資本勘定繰入	144,470	144,470
計	443,908	443,908

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	129.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	栗原市				
病院名	栗原市立栗駒病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,954 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	20:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	55.0
療養	45	92.2	90.6	70.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	45	92.2	90.6	61.3
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	22.9

設立団体の状況		
人口(人)	64,637	
決算規模(千円)	46,095,787	
標準財政規模(千円)	27,054,788	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	96.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.3
	将来負担比率(%)	11.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	740,595			
1 経常収益	740,595			
(1) 医業収益	556,839			
(うち修正医業収益)	488,645			
入院収益	307,912			
外来収益	148,269			
診療収入計	456,181			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	100,658			
(うち他会計負担金)	68,194			
(2) 医業外収益	183,756			
(うち国・都道府県補助金)	3,151			
(うち他会計補助・負担金)	175,055			
(うち長期前受金戻入)	4,174			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	797,971			
2 経常費用	797,930			
(1) 医業費用	744,058			
職員給与費	448,294	80.5	59.4	87.7
材料費	50,030	9.0	26.1	13.6
(うち薬品費)	22,899	4.1	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	27,131	4.9	11.8	5.9
減価償却費	52,999	9.5	8.7	12.7
経費	186,897	33.6	22.1	45.1
(うち委託料)	98,329	17.7	11.7	21.3
研究研修費	657			
資産減耗費	5,181			
(2) 医業外費用	53,872			
(うち支払利息)	14,369	2.6	1.0	1.0
(3) 特別損失	41			
損益	経常損益	-57,335		
	純損益	-57,376		
累積欠損金	923,075			
経常収支比率	92.8		103.3	101.7
医業収支比率	74.8		85.5	62.5
修正医業収支比率	65.7		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	32.8		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	43.7		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	32.8		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	62.3		91.9	67.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,503,467
1 固定資産	10,993,097
(1) 有形固定資産	10,953,154
(2) 無形固定資産	786
(3) 投資その他の資産	39,157
2 流動資産	1,510,370
(1) 現金及び預金	50,733
(2) 未収金及び未収収益	1,403,918
(3) 貸倒引当金()	1,074
(4) 貯蔵品	56,793
3 繰延資産	-
負債合計	8,790,879
1 固定負債	6,567,735
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,567,735
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,889,864
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	918,796
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	284,700
(6) リ一ス債務	2,307
(7) 一時借入金	220,000
(8) 未払金及び未払費用	462,217
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	333,280
(1) 長期前受金	699,615
(2) 長期前受金収益化累計額()	366,335
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,712,588
1 資本金	12,605,868
2 剰余金	-8,893,280
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-8,893,280
負債・資本合計	12,503,467
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	243,249	243,249
資本勘定繰入	26,740	26,740
計	269,989	269,989

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	129.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	大崎市				
病院名	大崎市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	50,178 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	43	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	494	80.2	79.6	81.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	58.4	93.7	41.4
計	500	79.9	79.8	80.6
平均在院日数(一般病床のみ)		9.9	10.7	9.9

設立団体の状況		
人口(人)	127,330	
決算規模(千円)	71,870,313	
標準財政規模(千円)	37,395,711	
財政力指数	0.48	
経常収支比率(%)	93.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.8
	将来負担比率(%)	64.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	23,950,701			
1 経常収益	23,811,846			
(1) 医業収益	21,489,677			
(うち修正医業収益)	20,615,273			
入院収益	12,053,779			
外来収益	7,794,798			
診療収入計	19,848,577			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	1,641,100			
(うち他会計負担金)	874,404			
(2) 医業外収益	2,322,169			
(うち国・都道府県補助金)	755,530			
(うち他会計補助・負担金)	770,816			
(うち長期前受金戻入)	487,363			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	138,855			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	23,445,054			
2 経常費用	23,394,058			
(1) 医業費用	22,114,005			
職員給与費	9,673,269	45.0	59.4	52.8
材料費	7,403,383	34.5	26.1	31.5
(うち薬品費)	4,384,775	20.4	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,018,608	14.0	11.8	13.9
減価償却費	1,204,220	5.6	8.7	7.7
経費	3,750,933	17.5	22.1	18.0
(うち委託料)	2,183,253	10.2	11.7	10.7
研究研修費	59,412			
資産減耗費	22,788			
(2) 医業外費用	1,280,053			
(うち支払利息)	157,981	0.7	1.0	0.9
(3) 特別損失	50,996			
損益	417,788			
純損益	505,647			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.8		103.3	102.8
医業収支比率	97.2		85.5	90.3
修正医業収支比率	93.2		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	6.9		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	7.7		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	6.9		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	94.8		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	33,135,084
1 固定資産	23,258,608
(1) 有形固定資産	22,323,007
(2) 無形固定資産	31,789
(3) 投資その他の資産	903,812
2 流動資産	9,876,476
(1) 現金及び預金	4,894,877
(2) 未収金及び未収収益	4,808,462
(3) 貸倒引当金()	12,139
(4) 貯蔵品	185,247
3 繰延資産	-
負債合計	23,799,500
1 固定負債	14,755,071
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,599,247
(2) その他の企業債	12,600
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	330,939
(7) 一ス債務	812,285
2 流動負債	3,874,476
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,204,017
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	712,484
(6) リ一ス債務	131,392
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,725,801
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,169,953
(1) 長期前受金	11,306,480
(2) 長期前受金収益化累計額()	6,136,527
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	9,335,584
1 資本金	11,069,543
2 剰余金	-1,733,959
(1) 資本剰余金	103,747
(2) 利益剰余金	-1,837,706
負債・資本合計	33,135,084
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,645,220	1,645,220
資本勘定繰入	570,946	570,946
計	2,216,166	2,216,166

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	7.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	大崎市				
病院名	大崎市民病院鳴子温泉分院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,367 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	40	61.4	59.0	53.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	61.4	59.0	26.7
平均在院日数(一般病床のみ)		24.1	14.7	16.9

設立団体の状況		
人口(人)	127,330	
決算規模(千円)	71,870,313	
標準財政規模(千円)	37,395,711	
財政力指数	0.48	
経常収支比率(%)	93.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.8
	将来負担比率(%)	64.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	989,396			
1 経常収益	834,434			
(1) 医業収益	446,393			
(うち修正医業収益)	406,673			
入院収益	289,530			
外来収益	100,728			
診療収入計	390,258			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	56,135			
(うち他会計負担金)	39,720			
(2) 医業外収益	388,041			
(うち国・都道府県補助金)	52,938			
(うち他会計補助・負担金)	302,466			
(うち長期前受金戻入)	19,456			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	154,962			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,359,888			
2 経常費用	823,834			
(1) 医業費用	787,262			
職員給与費	461,615	103.4	59.4	87.7
材料費	30,205	6.8	26.1	13.6
(うち薬品費)	15,449	3.5	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	14,756	3.3	11.8	5.9
減価償却費	74,010	16.6	8.7	12.7
経費	219,889	49.3	22.1	45.1
(うち委託料)	124,967	28.0	11.7	21.3
研究研修費	1,149			
資産減耗費	394			
(2) 医業外費用	36,572			
(うち支払利息)	8,707	2.0	1.0	1.0
(3) 特別損失	536,054			
経常損益	10,600			
純損益	-370,492			
累積欠損金	1,917,348			
経常収支比率	101.3		103.3	101.7
医業収支比率	56.7		85.5	62.5
修正医業収支比率	51.7		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	41.0		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	76.7		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	34.6		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	59.8		91.9	67.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	33,135,084
1 固定資産	23,258,608
(1) 有形固定資産	22,323,007
(2) 無形固定資産	31,789
(3) 投資その他の資産	903,812
2 流動資産	9,876,476
(1) 現金及び預金	4,894,877
(2) 未収金及び未収収益	4,808,462
(3) 貸倒引当金()	12,139
(4) 貯蔵品	185,247
3 繰延資産	-
負債合計	23,799,500
1 固定負債	14,755,071
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,599,247
(2) その他の企業債	12,600
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	330,939
(7) 一ス債務	812,285
2 流動負債	3,874,476
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,204,017
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	712,484
(6) リ一ス債務	131,392
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,725,801
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,169,953
(1) 長期前受金	11,306,480
(2) 長期前受金収益化累計額()	6,136,527
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	9,335,584
1 資本金	11,069,543
2 剰余金	-1,733,959
(1) 資本剰余金	103,747
(2) 利益剰余金	-1,837,706
負債・資本合計	33,135,084
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	342,186	342,186
資本勘定繰入	27,411	27,411
計	369,597	369,597

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	7.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	大崎市				
病院名	大崎市民病院岩出山分院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,496 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	4	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	40	87.4	83.5	86.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	87.4	83.5	86.0
平均在院日数(一般病床のみ)		19.2	14.7	17.2

設立団体の状況		
人口(人)	127,330	
決算規模(千円)	71,870,313	
標準財政規模(千円)	37,395,711	
財政力指数	0.48	
経常収支比率(%)	93.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.8
	将来負担比率(%)	64.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	871,136			
1 経常収益	856,432			
(1) 医業収益	648,163			
(うち修正医業収益)	611,834			
入院収益	413,671			
外来収益	165,447			
診療収入計	579,118			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	69,045			
(うち他会計負担金)	36,329			
(2) 医業外収益	208,269			
(うち国・都道府県補助金)	41,856			
(うち他会計補助・負担金)	110,077			
(うち長期前受金戻入)	36,261			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	14,704			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	832,766			
2 経常費用	832,632			
(1) 医業費用	808,193			
職員給与費	489,948	75.6	59.4	87.7
材料費	47,286	7.3	26.1	13.6
(うち薬品費)	18,404	2.8	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	28,882	4.5	11.8	5.9
減価償却費	54,266	8.4	8.7	12.7
経費	215,459	33.2	22.1	45.1
(うち委託料)	122,368	18.9	11.7	21.3
研究研修費	1,073			
資産減耗費	161			
(2) 医業外費用	24,439			
(うち支払利息)	3,161	0.5	1.0	1.0
(3) 特別損失	134			
経常損益	23,800			
純損益	38,370			
累積欠損金	591,705			
経常収支比率	102.9		103.3	101.7
医業収支比率	80.2		85.5	62.5
修正医業収支比率	75.7		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	17.1		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	22.6		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	16.8		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	85.3		91.9	67.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	33,135,084
1 固定資産	23,258,608
(1) 有形固定資産	22,323,007
(2) 無形固定資産	31,789
(3) 投資その他の資産	903,812
2 流動資産	9,876,476
(1) 現金及び預金	4,894,877
(2) 未収金及び未収収益	4,808,462
(3) 貸倒引当金()	12,139
(4) 貯蔵品	185,247
3 繰延資産	-
負債合計	23,799,500
1 固定負債	14,755,071
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,599,247
(2) その他の企業債	12,600
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	330,939
(7) 一ス債務	812,285
2 流動負債	3,874,476
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,204,017
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	712,484
(6) リ一ス債務	131,392
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,725,801
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,169,953
(1) 長期前受金	11,306,480
(2) 長期前受金収益化累計額()	6,136,527
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	9,335,584
1 資本金	11,069,543
2 剰余金	-1,733,959
(1) 資本剰余金	103,747
(2) 利益剰余金	-1,837,706
負債・資本合計	33,135,084
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	146,406	146,406
資本勘定繰入	50,028	50,028
計	196,434	196,434

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	7.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	大崎市				
病院名	大崎市民病院鹿島台分院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,728 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	40	76.6	75.8	75.7
療養	18	88.8	84.4	69.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	58	80.3	78.4	73.7
平均在院日数(一般病床のみ)		28.5	24.9	25.7

設立団体の状況		
人口(人)	127,330	
決算規模(千円)	71,870,313	
標準財政規模(千円)	37,395,711	
財政力指数	0.48	
経常収支比率(%)	93.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.8
	将来負担比率(%)	64.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,107,052			
1 経常収益	1,096,316			
(1) 医業収益	808,808			
(うち修正医業収益)	772,451			
入院収益	479,593			
外来収益	259,934			
診療収入計	739,527			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	69,281			
(うち他会計負担金)	36,357			
(2) 医業外収益	287,508			
(うち国・都道府県補助金)	58,558			
(うち他会計補助・負担金)	200,068			
(うち長期前受金戻入)	13,581			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	10,736			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,045,000			
2 経常費用	1,044,924			
(1) 医業費用	1,014,083			
職員給与費	615,574	76.1	59.4	76.5
材料費	70,420	8.7	26.1	14.9
(うち薬品費)	34,516	4.3	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	35,904	4.4	11.8	6.4
減価償却費	45,394	5.6	8.7	11.5
経費	279,009	34.5	22.1	32.6
(うち委託料)	155,269	19.2	11.7	14.8
研究研修費	1,099			
資産減耗費	2,587			
(2) 医業外費用	30,841			
(うち支払利息)	6,083	0.8	1.0	1.3
(3) 特別損失	76			
損益	51,392			
純損益	62,052			
累積欠損金	849,076			
経常収支比率	104.9		103.3	101.5
医業収支比率	79.8		85.5	73.2
修正医業収支比率	76.2		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	21.6		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	29.2		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	21.4		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	82.3		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	33,135,084
1 固定資産	23,258,608
(1) 有形固定資産	22,323,007
(2) 無形固定資産	31,789
(3) 投資その他の資産	903,812
2 流動資産	9,876,476
(1) 現金及び預金	4,894,877
(2) 未収金及び未収収益	4,808,462
(3) 貸倒引当金()	12,139
(4) 貯蔵品	185,247
3 繰延資産	-
負債合計	23,799,500
1 固定負債	14,755,071
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,599,247
(2) その他の企業債	12,600
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	330,939
(7) 一ス債務	812,285
2 流動負債	3,874,476
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,204,017
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	712,484
(6) リ一ス債務	131,392
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,725,801
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,169,953
(1) 長期前受金	11,306,480
(2) 長期前受金収益化累計額()	6,136,527
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	9,335,584
1 資本金	11,069,543
2 剰余金	-1,733,959
(1) 資本剰余金	103,747
(2) 利益剰余金	-1,837,706
負債・資本合計	33,135,084
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	232,725	236,425
資本勘定繰入	21,322	21,322
計	254,047	257,747

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	7.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	蔵王町				
病院名	蔵王町国民健康保険蔵王病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	2,084 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	1	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	20:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	10	49.4	63.7	28.8
療養	26	39.6	37.6	55.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	36	42.3	44.8	48.4
平均在院日数(一般病床のみ)		32.8	32.5	46.7

設立団体の状況		
人口(人)	11,418	
決算規模(千円)	7,686,286	
標準財政規模(千円)	4,463,177	
財政力指数	0.44	
経常収支比率(%)	93.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	372,052			
1 経常収益	371,963			
(1) 医業収益	173,235			
(うち修正医業収益)	130,960			
入院収益	78,141			
外来収益	38,011			
診療収入計	116,152			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	57,083			
(うち他会計負担金)	42,275			
(2) 医業外収益	198,728			
(うち国・都道府県補助金)	5,600			
(うち他会計補助・負担金)	190,319			
(うち長期前受金戻入)	1,259			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	89			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	416,047			
2 経常費用	409,804			
(1) 医業費用	396,671			
職員給与費	220,061	127.0	59.4	87.7
材料費	19,985	11.5	26.1	13.6
(うち薬品費)	5,386	3.1	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	10,392	6.0	11.8	5.9
減価償却費	15,091	8.7	8.7	12.7
経費	139,687	80.6	22.1	45.1
(うち委託料)	75,040	43.3	11.7	21.3
研究研修費	202			
資産減耗費	1,645			
(2) 医業外費用	13,133			
(うち支払利息)	173	0.1	1.0	1.0
(3) 特別損失	6,243			
損益	-37,841			
純損益	-43,995			
累積欠損金	314,653			
経常収支比率	90.8		103.3	101.7
医業収支比率	43.7		85.5	62.5
修正医業収支比率	33.0		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	62.5		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	134.3		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	62.5		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	34.0		91.9	67.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	281,908
1 固定資産	209,592
(1) 有形固定資産	209,076
(2) 無形固定資産	516
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	72,316
(1) 現金及び預金	37,065
(2) 未収金及び未収収益	34,527
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	724
3 繰延資産	-
負債合計	135,911
1 固定負債	76,933
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,650
(2) その他の企業債	3,600
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	58,683
2 流動負債	49,057
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,191
(2) その他の企業債	400
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	16,509
(6) リ一ス債務	9,806
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	15,107
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	9,921
(1) 長期前受金	64,423
(2) 長期前受金収益化累計額()	54,502
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	145,997
1 資本金	453,899
2 剰余金	-307,902
(1) 資本金剰余金	6,751
(2) 利益剰余金	-314,653
負債・資本合計	281,908
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	138,481	232,594
資本勘定繰入	3,655	3,655
計	142,136	236,249

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	181.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	川崎町				
病院名	国民健康保険川崎病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,631 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	4	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	30	75.8	70.6	66.2
療養	28	87.3	74.9	69.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	58	81.4	72.7	67.9
平均在院日数(一般病床のみ)		25.1	20.8	19.8

設立団体の状況		
人口(人)	8,345	
決算規模(千円)	5,432,905	
標準財政規模(千円)	3,657,465	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	89.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	889,658			
1 経常収益	889,027			
(1) 医業収益	617,365			
(うち修正医業収益)	559,214			
入院収益	330,647			
外来収益	175,498			
診療収入計	506,145			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	111,220			
(うち他会計負担金)	58,151			
(2) 医業外収益	271,662			
(うち国・都道府県補助金)	34,374			
(うち他会計補助・負担金)	213,382			
(うち長期前受金戻入)	17,877			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	631			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	853,324			
2 経常費用	852,776			
(1) 医業費用	819,852			
職員給与費	514,177	83.3	59.4	76.5
材料費	68,803	11.1	26.1	14.9
(うち薬品費)	26,560	4.3	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	31,307	5.1	11.8	6.4
減価償却費	38,639	6.3	8.7	11.5
経費	196,728	31.9	22.1	32.6
(うち委託料)	100,856	16.3	11.7	14.8
研究研修費	381			
資産減耗費	1,124			
(2) 医業外費用	32,924			
(うち支払利息)	7,631	1.2	1.0	1.3
(3) 特別損失	548			
損益	36,251			
純損益	36,334			
累積欠損金	1,287,259			
経常収支比率	104.3		103.3	101.5
医業収支比率	75.3		85.5	73.2
修正医業収支比率	68.2		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	30.5		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	44.0		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	30.5		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	72.4		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	964,481
1 固定資産	770,123
(1) 有形固定資産	769,652
(2) 無形固定資産	471
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	194,358
(1) 現金及び預金	81,312
(2) 未収金及び未収収益	109,533
(3) 貸倒引当金()	449
(4) 貯蔵品	3,962
3 繰延資産	-
負債合計	570,847
1 固定負債	213,491
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	107,727
(2) その他の企業債	56,729
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	49,035
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	153,211
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	80,020
(2) その他の企業債	4,666
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	31,578
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	33,281
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	204,145
(1) 長期前受金	532,855
(2) 長期前受金収益化累計額()	328,710
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	393,634
1 資本金	1,600,581
2 剰余金	-1,206,947
(1) 資本剰余金	80,312
(2) 利益剰余金	-1,287,259
負債・資本合計	964,481
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	271,533	271,533
資本勘定繰入	51,621	51,621
計	323,154	323,154

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	208.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	丸森町				
病院名	丸森町国民健康保険丸森病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド I		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,360 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	55	60.2	65.1	65.2
療養	35	25.4	35.8	42.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	46.7	53.7	56.3
平均在院日数(一般病床のみ)		28.2	26.4	22.7

設立団体の状況		
人口(人)	12,262	
決算規模(千円)	17,869,562	
標準財政規模(千円)	5,327,124	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	87.6	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.2
	将来負担比率(%)	10.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,067,282			
1 経常収益	1,067,282			
(1) 医業収益	868,114			
(うち修正医業収益)	769,447			
入院収益	410,398			
外来収益	232,920			
診療収入計	643,318			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	224,796			
(うち他会計負担金)	98,667			
(2) 医業外収益	199,168			
(うち国・都道府県補助金)	56,651			
(うち他会計補助・負担金)	116,991			
(うち長期前受金戻入)	14,802			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,150,424			
2 経常費用	1,148,639			
(1) 医業費用	1,094,144			
職員給与費	529,187	61.0	59.4	76.5
材料費	72,521	8.4	26.1	14.9
(うち薬品費)	22,814	2.6	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	48,589	5.6	11.8	6.4
減価償却費	86,275	9.9	8.7	11.5
経費	403,195	46.4	22.1	32.6
(うち委託料)	210,774	24.3	11.7	14.8
研究研修費	787			
資産減耗費	2,179			
(2) 医業外費用	54,495			
(うち支払利息)	14,819	1.7	1.0	1.3
(3) 特別損失	1,785			
経常損益	-81,357			
純損益	-83,142			
累積欠損金	71,353			
経常収支比率	92.9		103.3	101.5
医業収支比率	79.3		85.5	73.2
修正医業収支比率	70.3		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	20.2		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	24.8		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	20.2		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	74.1		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,830,665
1 固定資産	1,389,617
(1) 有形固定資産	1,389,555
(2) 無形固定資産	62
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	441,048
(1) 現金及び預金	311,416
(2) 未収金及び未収収益	125,635
(3) 貸倒引当金()	700
(4) 貯蔵品	4,477
3 繰延資産	-
負債合計	762,324
1 固定負債	454,126
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	428,770
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	21,486
(7) 一ス債務	3,870
2 流動負債	250,613
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	121,016
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	39,239
(6) リ一ス債務	2,111
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	85,136
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	57,585
(1) 長期前受金	564,234
(2) 長期前受金収益化累計額()	506,649
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,068,341
1 資本金	1,139,694
2 剰余金	-71,353
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-71,353
負債・資本合計	1,830,665
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	259,728	215,658
資本勘定繰入	114,342	114,342
計	374,070	330,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	8.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	涌谷町				
病院名	涌谷町国民健康保険病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,569 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	12	指定病院の状況	救 臨 輪		
許可公営企業	許可	看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	80	60.6	70.2	75.9
療養	41	75.9	81.9	83.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	121	65.8	74.1	78.5
平均在院日数(一般病床のみ)		20.0	21.4	21.2

設立団体の状況		
人口(人)	15,388	
決算規模(千円)	8,172,311	
標準財政規模(千円)	5,063,160	
財政力指数	0.38	
経常収支比率(%)	81.9	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.6
	将来負担比率(%)	2.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,047,728			
1 経常収益	2,047,728			
(1) 医業収益	1,590,540			
(うち修正医業収益)	1,518,922			
入院収益	743,987			
外来収益	658,453			
診療収入計	1,402,440			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	188,100			
(うち他会計負担金)	71,618			
(2) 医業外収益	457,188			
(うち国・都道府県補助金)	199,859			
(うち他会計補助・負担金)	185,771			
(うち長期前受金戻入)	53,875			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,962,477			
2 経常費用	1,959,611			
(1) 医業費用	1,886,376			
職員給与費	1,060,113	66.7	59.4	67.0
材料費	406,163	25.5	26.1	18.2
(うち薬品費)	322,779	20.3	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	66,530	4.2	11.8	9.4
減価償却費	100,304	6.3	8.7	10.2
経費	317,828	20.0	22.1	28.8
(うち委託料)	145,166	9.1	11.7	13.2
研究研修費	1,519			
資産減耗費	449			
(2) 医業外費用	73,235			
(うち支払利息)	8,960	0.6	1.0	1.1
(3) 特別損失	2,866			
損益	88,117			
純損益	85,251			
累積欠損金	1,575,852			
経常収支比率	104.5		103.3	104.5
医業収支比率	84.3		85.5	80.1
修正医業収支比率	80.5		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	12.6		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	16.2		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	12.6		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	91.4		91.9	88.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,541,249
1 固定資産	1,134,970
(1) 有形固定資産	1,133,750
(2) 無形固定資産	1,220
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	406,279
(1) 現金及び預金	15,043
(2) 未収金及び未収収益	377,200
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	14,036
3 繰延資産	-
負債合計	1,616,071
1 固定負債	519,151
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	430,403
(2) その他の企業債	63,736
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一 負債	25,012
2 流動負債	625,813
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	72,664
(2) その他の企業債	5,616
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	52,982
(6) リ 一 負債	6,591
(7) 一時借入金	400,000
(8) 未払金及び未払費用	87,960
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	471,107
(1) 長期前受金	1,134,505
(2) 長期前受金収益化累計額()	663,398
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-74,822
1 資本金	1,468,843
2 剰余金	-1,543,665
(1) 資本剰余金	32,187
(2) 利益剰余金	-1,575,852
負債・資本合計	1,541,249
不良債務	146,870
実質資金不足額	146,870
資本不足額()	74,822
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	200,515	257,389
資本勘定繰入	45,006	45,006
計	245,521	302,395

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	146,870	9.2
令和3年度	230,762	13.8
令和2年度	121,110	7.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	99.1
健全化法上の資金不足額(千円)	108,482
健全化法上の資金不足比率(%)	6.8
地財法上の資金不足額(千円)	207,806
地財法上の資金不足比率(%)	13.0

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名	美里町		
病院名	美里町立南郷病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	2,899 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	5	指定病院の状況	救 輪
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	50	69.1	70.7	63.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	69.1	70.7	63.4
平均在院日数(一般病床のみ)		50.3	46.3	42.6

設立団体の状況		
人口(人)	23,994	
決算規模(千円)	11,479,381	
標準財政規模(千円)	7,088,160	
財政力指数	0.41	
経常収支比率(%)	89.9	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.1
	将来負担比率(%)	19.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	748,110			
1 経常収益	744,954			
(1) 医業収益	473,978			
(うち修正医業収益)	437,684			
入院収益	229,136			
外来収益	137,660			
診療収入計	366,796			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	107,182			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	270,976			
(うち国・都道府県補助金)	57,234			
(うち他会計補助・負担金)	183,706			
(うち長期前受金戻入)	29,158			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,156			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	709,340			
2 経常費用	709,340			
(1) 医業費用	682,639			
職員給与費	405,408	85.5	59.4	76.5
材料費	57,522	12.1	26.1	14.9
(うち薬品費)	23,947	5.1	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	33,575	7.1	11.8	6.4
減価償却費	51,073	10.8	8.7	11.5
経費	167,240	35.3	22.1	32.6
(うち委託料)	81,614	17.2	11.7	14.8
研究研修費	291			
資産減耗費	1,105			
(2) 医業外費用	26,701			
(うち支払利息)	7,502	1.6	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	35,614			
純損益	38,770			
累積欠損金	467,809			
経常収支比率	105.0		103.3	101.5
医業収支比率	69.4		85.5	73.2
修正医業収支比率	64.1		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	29.5		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	46.4		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	29.4		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	74.0		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	918,787
1 固定資産	698,488
(1) 有形固定資産	698,488
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	220,299
(1) 現金及び預金	102,738
(2) 未収金及び未収収益	114,395
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	2,133
3 繰延資産	-
負債合計	471,776
1 固定負債	81,841
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	81,841
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	138,329
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	82,446
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	22,197
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	30,659
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	251,606
(1) 長期前受金	505,952
(2) 長期前受金収益化累計額()	254,346
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	447,011
1 資本金	914,820
2 剰余金	-467,809
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-467,809
負債・資本合計	918,787
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	220,000	220,000
資本勘定繰入	60,352	60,352
計	280,352	280,352

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	98.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名	女川町		
病院名	女川町立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	6,430	
決算規模(千円)	13,107,283	
標準財政規模(千円)	3,703,794	
財政力指数	0.97	
経常収支比率(%)	85.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,474			
1 経常収益	3,474			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	3,474			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,474			
2 経常費用	3,474			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	76.5
材料費	-	-	26.1	14.9
(うち薬品費)	-	-	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	6.4
減価償却費	-	-	8.7	11.5
経費	-	-	22.1	32.6
(うち委託料)	-	-	11.7	14.8
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	3,474			
(うち支払利息)	3,474	-	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益				
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	101.5
医業収支比率	-		85.5	73.2
修正医業収支比率	-		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	78.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	南三陸町				
病院名	南三陸病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	8,554 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	救臨感 輪		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	40	78.4	80.2	71.8
療養	50	81.1	86.3	91.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	79.9	83.6	82.6
平均在院日数(一般病床のみ)		22.9	17.5	13.0

設立団体の状況	
人口(人)	12,225
決算規模(千円)	13,995,534
標準財政規模(千円)	5,440,555
財政力指数	0.30
経常収支比率(%)	98.6
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 10.5 -

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,798,088			
1 経常収益	1,798,077			
(1) 医業収益	1,334,650			
(うち修正医業収益)	1,286,650			
入院収益	722,417			
外来収益	486,414			
診療収入計	1,208,831			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	125,819			
(うち他会計負担金)	48,000			
(2) 医業外収益	463,427			
(うち国・都道府県補助金)	13,321			
(うち他会計補助・負担金)	292,000			
(うち長期前受金戻入)	151,036			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	11			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,787,952			
2 経常費用	1,787,914			
(1) 医業費用	1,735,709			
職員給与費	869,321	65.1	59.4	76.5
材料費	153,674	11.5	26.1	14.9
(うち薬品費)	50,361	3.8	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	101,445	7.6	11.8	6.4
減価償却費	170,883	12.8	8.7	11.5
経費	539,719	40.4	22.1	32.6
(うち委託料)	254,735	19.1	11.7	14.8
研究研修費	2,037			
資産減耗費	75			
(2) 医業外費用	52,205			
(うち支払利息)	1,685	0.1	1.0	1.3
(3) 特別損失	38			
損益	10,163			
純損益	10,136			
累積欠損金	827,641			
経常収支比率	100.6		103.3	101.5
医業収支比率	76.9		85.5	73.2
修正医業収支比率	74.1		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	18.9		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	25.5		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	18.9		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	81.6		91.9	78.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,369,584
1 固定資産	3,765,039
(1) 有形固定資産	3,665,933
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	99,106
2 流動資産	604,545
(1) 現金及び預金	390,102
(2) 未収金及び未収収益	210,547
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	3,740
3 繰延資産	-
負債合計	4,368,188
1 固定負債	207,193
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	88,347
(2) その他の企業債	118,846
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	223,104
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	24,176
(2) その他の企業債	32,086
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リ一ス債務	164
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	166,678
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,937,891
(1) 長期前受金	5,953,978
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,016,087
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,396
1 資本金	801,287
2 剰余金	-799,891
(1) 資本剰余金	27,750
(2) 利益剰余金	-827,641
負債・資本合計	4,369,584
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	340,000	340,000
資本勘定繰入	6,282	44,443
計	346,282	384,443

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	62.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名	白石市外二町組合		
病院名	公立刈田総合病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透Ⅰ 訓力
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	26,164 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	13	指定病院の状況	救 災 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	199	43.1	44.8	44.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	17.3	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	87.8	28.6	27.3
計	199	43.1	43.9	43.6
平均在院日数(一般病床のみ)		23.8	19.9	12.9

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	2,469	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	92.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,369,222			
1 経常収益	3,327,296			
(1) 医業収益	2,649,325			
(うち修正医業収益)	2,371,824			
入院収益	1,122,375			
外来収益	1,112,286			
診療収入計	2,234,661			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	414,664			
(うち他会計負担金)	277,501			
(2) 医業外収益	677,971			
(うち国・都道府県補助金)	129,389			
(うち他会計補助・負担金)	489,994			
(うち長期前受金戻入)	23,906			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	41,926			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,893,927			
2 経常費用	3,832,544			
(1) 医業費用	3,591,507			
職員給与費	1,832,190	69.2	59.4	67.0
材料費	344,948	13.0	26.1	18.2
(うち薬品費)	105,903	4.0	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	239,045	9.0	11.8	9.4
減価償却費	284,594	10.7	8.7	10.2
経費	1,066,268	40.2	22.1	28.8
(うち委託料)	570,275	21.5	11.7	13.2
研究研修費	2,809			
資産減耗費	60,698			
(2) 医業外費用	241,037			
(うち支払利息)	108,117	4.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	61,383			
経常損益	-505,248			
純損益	-524,705			
累積欠損金	17,186,339			
経常収支比率	86.8		103.3	104.5
医業収支比率	73.8		85.5	80.1
修正医業収支比率	66.0		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	23.1		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	29.0		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	22.8		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	66.8		91.9	88.8

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,432,405
1 固定資産	4,899,574
(1) 有形固定資産	4,897,545
(2) 無形固定資産	2,029
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	532,831
(1) 現金及び預金	62,437
(2) 未収金及び未収収益	470,394
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	7,742,176
1 固定負債	6,437,147
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,371,370
(2) その他の企業債	2,065,777
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	801,281
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	552,042
(2) その他の企業債	51,823
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	976
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	196,340
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	503,748
(1) 長期前受金	1,237,863
(2) 長期前受金収益化累計額()	734,115
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-2,309,771
1 資本金	14,846,778
2 剰余金	-17,156,549
(1) 資本剰余金	1,050
(2) 利益剰余金	-17,157,599
負債・資本合計	5,432,405
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	2,309,771
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,806,023
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	529,321	767,495
資本勘定繰入	217,436	1,167,885
計	746,757	1,935,380

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	198,007	5.9

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	648.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名	黒川地域行政事務組合		
病院名	公立黒川病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	10,029 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	17	指定病院の状況	救臨 へ
許可公営企業	許可	看護配置	10:1
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	110	63.1	66.2	54.4
療養	60	71.3	71.3	70.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	170	66.0	68.0	59.9
平均在院日数(一般病床のみ)		15.4	14.7	13.8

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	2,665,683	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	87.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	205,593			
1 経常収益	205,588			
(1) 医業収益	10,000			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	10,000			
(うち他会計負担金)	10,000			
(2) 医業外収益	195,588			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	149,705			
(うち長期前受金戻入)	44,791			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	5			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	389,824			
2 経常費用	389,782			
(1) 医業費用	359,808			
職員給与費	3,972	39.7	59.4	67.0
材料費	-	-	26.1	18.2
(うち薬品費)	-	-	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.4
減価償却費	221,058	2210.6	8.7	10.2
経費	134,271	1342.7	22.1	28.8
(うち委託料)	81,894	818.9	11.7	13.2
研究研修費	-			
資産減耗費	507			
(2) 医業外費用	29,974			
(うち支払利息)	29,974	299.7	1.0	1.1
(3) 特別損失	42			
損益	-184,194			
純損益	-184,231			
累積欠損金	4,423,525			
経常収支比率	52.7		103.3	104.5
医業収支比率	2.8		85.5	80.1
修正医業収支比率	-		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	77.7		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	1597.1		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	77.7		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	11.8		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,471,478
1 固定資産	3,384,463
(1) 有形固定資産	3,066,463
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	318,000
2 流動資産	87,015
(1) 現金及び預金	39,565
(2) 未収金及び未収収益	20,950
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,876,489
1 固定負債	1,047,016
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	705,579
(2) その他の企業債	240,857
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	77,143
(6) 引当金	23,437
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	355,010
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	314,441
(2) その他の企業債	20,071
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	6,429
(5) 引当金	8,431
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,638
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	474,463
(1) 長期前受金	866,511
(2) 長期前受金収益化累計額()	392,048
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,594,989
1 資本金	6,018,514
2 剰余金	-4,423,525
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-4,423,525
負債・資本合計	3,471,478
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	141,555	159,705
資本勘定繰入	206,908	315,305
計	348,463	475,010

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	44235.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	194,411
地財法上の資金不足比率(%)	1944.1

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名	加美郡保健医療福祉行政事務組合		
病院名	公立加美病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	7,804 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	7	指定病院の状況	救 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	40	65.1	77.4	71.2
療養	50	81.7	81.3	74.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	74.4	79.6	72.8
平均在院日数(一般病床のみ)		15.3	22.2	17.4

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	878,054	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	93.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,396,606			
1 経常収益	1,395,911			
(1) 医業収益	942,568			
(うち修正医業収益)	891,977			
入院収益	580,468			
外来収益	207,457			
診療収入計	787,925			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	154,643			
(うち他会計負担金)	50,591			
(2) 医業外収益	453,343			
(うち国・都道府県補助金)	124,062			
(うち他会計補助・負担金)	257,529			
(うち長期前受金戻入)	70,957			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	695			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,302,508			
2 経常費用	1,302,205			
(1) 医業費用	1,229,808			
職員給与費	729,516	77.4	59.4	76.5
材料費	93,141	9.9	26.1	14.9
(うち薬品費)	34,426	3.7	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	56,814	6.0	11.8	6.4
減価償却費	76,675	8.1	8.7	11.5
経費	326,792	34.7	22.1	32.6
(うち委託料)	177,816	18.9	11.7	14.8
研究研修費	903			
資産減耗費	2,781			
(2) 医業外費用	72,397			
(うち支払利息)	18,399	2.0	1.0	1.3
(3) 特別損失	303			
損益	93,706			
純損益	94,098			
累積欠損金	1,792,311			
経常収支比率	107.2		103.3	101.5
医業収支比率	76.6		85.5	73.2
修正医業収支比率	72.5		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	22.1		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	32.7		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	22.1		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	83.5		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,116,936
1 固定資産	1,568,795
(1) 有形固定資産	1,568,356
(2) 無形固定資産	439
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	548,141
(1) 現金及び預金	238,772
(2) 未収金及び未収収益	292,982
(3) 貸倒引当金()	2,487
(4) 貯蔵品	18,874
3 繰延資産	-
負債合計	2,243,299
1 固定負債	790,706
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	690,706
(2) その他の企業債	100,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	451,203
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	170,561
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	48,528
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	232,114
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,001,390
(1) 長期前受金	2,517,564
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,516,174
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-126,363
1 資本金	1,573,732
2 剰余金	-1,700,095
(1) 資本剰余金	92,216
(2) 利益剰余金	-1,792,311
負債・資本合計	2,116,936
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	126,363
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	235,606	308,120
資本勘定繰入	107,873	171,931
計	343,479	480,051

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	190.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名	みやぎ県南中核病院企業団		
病院名	みやぎ県南中核病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	26,364 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	34	指定病院の状況	救臨へ災地輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	310	74.5	74.2	71.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	310	74.5	74.2	71.3
平均在院日数(一般病床のみ)		10.2	9.6	9.9

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,182,068			
1 経常収益	11,181,727			
(1) 医業収益	9,934,278			
(うち修正医業収益)	9,271,582			
入院収益	5,952,630			
外来収益	3,070,358			
診療収入計	9,022,988			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	911,290			
(うち他会計負担金)	662,696			
(2) 医業外収益	1,247,449			
(うち国・都道府県補助金)	722,803			
(うち他会計補助・負担金)	255,495			
(うち長期前受金戻入)	134,843			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	341			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,102,103			
2 経常費用	11,098,633			
(1) 医業費用	10,436,452			
職員給与費	5,497,021	55.3	59.4	59.0
材料費	2,422,312	24.4	26.1	25.6
(うち薬品費)	1,265,469	12.7	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,156,843	11.6	11.8	11.2
減価償却費	521,743	5.3	8.7	8.6
経費	1,946,436	19.6	22.1	21.3
(うち委託料)	1,122,119	11.3	11.7	11.6
研究研修費	29,130			
資産減耗費	19,810			
(2) 医業外費用	662,181			
(うち支払利息)	124,768	1.3	1.0	1.1
(3) 特別損失	3,470			
損益	83,094			
純損益	79,965			
累積欠損金	14,946,664			
経常収支比率	100.7		103.3	104.8
医業収支比率	95.2		85.5	87.0
修正医業収支比率	88.8		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	8.2		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	9.2		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	8.2		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	92.5		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,461,980
1 固定資産	7,953,843
(1) 有形固定資産	7,886,443
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	67,400
2 流動資産	2,508,137
(1) 現金及び預金	275,221
(2) 未収金及び未収収益	2,162,738
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	70,178
3 繰延資産	-
負債合計	10,167,694
1 固定負債	5,843,724
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,547,553
(2) その他の企業債	230,186
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	65,985
2 流動負債	2,620,907
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	897,424
(2) その他の企業債	19,891
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	291,070
(6) リ一ス債務	12,269
(7) 一時借入金	700,000
(8) 未払金及び未払費用	700,253
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,703,063
(1) 長期前受金	2,692,884
(2) 長期前受金収益化累計額()	989,821
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	294,286
1 資本金	15,162,139
2 剰余金	-14,867,853
(1) 資本金剰余金	78,811
(2) 利益剰余金	-14,946,664
負債・資本合計	10,461,980
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	947,534	918,191
資本勘定繰入	531,676	827,230
計	1,479,210	1,745,421

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	688,596	8.1

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	150.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。